

理工系STEM女子応援事業【神奈川県横浜市】

個別事業費	1, 051 千円
交付金額	525 千円

地域の実情と課題

理工系学部を設置している横浜市内の大学における女子学生比率は2割弱(横浜市調べ(R3時点))となっており、依然として理工系分野を進路に選択する女子学生が少ない状況である。理工系分野の女性人材の増加に向けては、進路や職業選択を行う前段階において、理工系分野への関心を高める取組を行うことが重要である。

目的・目標

- ・学生の理工系分野進路選択の支援
- ・保護者・教員の理解促進

事業の特徴

企業で活躍している女性技術者(3名)や理工系分野を学ぶ大学生(1名)から、進路選択決定にあたってのポイントや、実際に企業で働くことについて話を聞くことができるセミナーを開催した。実施に当たっては、女性技術者同士の交流や相互研修などに取り組む日本女性技術者フォーラム及び関東学院大学の協力を得て実施した。

連携団体

- ・日本女性技術者フォーラム(事業の企画・実施の連携、登壇者の選定)
- ・関東学院大学(登壇者の推薦)

事業の効果

事後アンケートでは、「参加前より興味がわいた・理工系へ進みたい」「参加前と変わらず興味がある・理工系へ進みたい」と答えた人は75%となり、イベントを通じて理工系分野への興味関心を高めることができた。

今後の課題

事業内容の見直しにより本セミナーについては今年度で終了するが、引き続き他事業を通じて理工系分野への興味関心を高められるよう普及・啓発を行っていくことが必要である。

